

<添付資料 1> 日本橋再生計画、日本橋室町東地区開発計画について

「日本橋再生計画」について

三井不動産は官民地元と一体となって「残しながら、蘇らせながら、創っていく」をコンセプトに日本橋地域の活性化と街に新たな魅力を創造する「日本橋再生計画」を推進しています。

「日本橋再生計画」は、『東急百貨店日本橋店』の閉店（1999 年）後、当社などがその跡地に、新しい商業施設『COREDO 日本橋（日本橋一丁目ビルディング）』をオープン（2004 年）したことをきっかけに大きく動き出しました。

コンセプト「残しながら、蘇らせながら、創っていく」

「残しながら」 ……歴史的建造物、伝統ある老舗、街の文化、地域コミュニティ

「蘇らせながら」 ……街並と景観、豊かな水辺空間、賑わい

「創っていく」 ……新しい価値や都市機能、スマート化による街の魅力付け

五街道の起点であった賑わいをもう一度再生させる街づくりの取り組みで、水辺の活性化や街の美化活動、伝統行事や賑わいイベントの開催まで、地域の皆様や行政と連携し、さまざまな施策を継続的に行っており、日本橋に新たな来街者が増加し街に回遊性が高まっています。

「日本橋室町東地区開発計画」について

○「日本橋再生計画」の一環として推進している日本橋室町東地区における 5 つの街区の一体開発。オフィス、商業施設、賃貸住宅、多目的ホールなどの機能を融合させた総延床面積 180,000 ㎡を超える大規模複合再開発。

○街区を取り囲む「通り」の景観形成と賑わい創出により、歩いて楽しい街を実現

- ・「中央通り」に面する低層部のスカイラインを約 100 尺（約 31m）に統一
- ・「仲通り」「浮世小路」の電線類地中化および石畳による道路表層整備
- ・「江戸桜通り」は日本銀行本店から続く桜並木を延伸し、歩道幅を拡幅
- ・「福德神社」を再興し参道と緑あふれる「福德の森」として整備

○施設利用者の利便性と歩行者の安全性を向上させるため、タクシー乗り場、駐輪場、バイク置場の整備や、駐車場出入口を「室町古河三井ビルディング」と「日本橋室町野村ビル」に集約化。

○「江戸桜通り地下歩道」を中央区と共同で整備し、中央通りの地下拡幅国道事業と一体となって約 3,000㎡の地下広場空間を整備。東京メトロ「三越前」駅、JR「新日本橋駅」や「三越日本橋本店」、「COREDO 室町」等と直結します。また、災害時には帰宅困難者の一時滞在施設として使用可能で、災害情報の発信、防災備蓄品の提供などを行います。



日本橋室町東地区開発計画（イメージパース）